

	第2学年	三次市立塩町中学校	指導者 門田 崇
単元名	4 論理的に考える 「一〇〇年後の水を守る」		
本単元で育成する資質・能力		思考力・判断力,	

- 1 日 時 令和3年9月29日(水) 5校時
- 2 学年・学級 2年A組(男子11人 女子17人 計28人)
- 3 単元名 「一〇〇年後の水を守る」 橋本淳司 著(現代の国語2 三省堂)
- 4 本単元を指導するにあたって

【単元観】

本単元は、国語科学習指導要領中学校第2学年[知識及び技能](2)「イ 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うこと」[思考力、判断力、表現力等]「C 読むこと」の「ウ 文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて、内容を解釈すること」「オ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること」の3つの内容をねらいとする。今回学習する「一〇〇年後の水を守る」は、現在、世界が直面する水不足の問題について、筆者の問題提起とその解決に向けた提案を行う論説文である。使える水の減少に対する使う水の増加と、バーチャルウォーターの増加を問題の原因とし、その解決策に、「節水」「雨水利用」「再利用」を挙げている。具体的な数値を示すことで説得力を高めながら、図表によってイメージのしやすさ、分かりやすさを補完している。また、世界的な状況を説明する中で、日本の状況にも言及することで読者の問題として提起する構造がある。読者である学習者が、図や表とテキストを結び付けることで文章を理解し、吟味し、解釈するのに適している。

【指導観】

指導に当たっては、まず単元前の総合的な学習の時間に行ったプロジェクト WET のアクティビティ「大海の一滴」を想起させたり、本単元第2次でプロジェクト WET のアクティビティ「驚異の旅」を行ったりすることで、水の貴重さや循環について実感的に理解させたい。その上で文章の展開に即して丁寧に読み解きながら、「水問題」を具体的に理解したり、筆者の主張を受けとめたりさせたい。本校2年生の生徒にとっては、一読して容易に理解できる内容ではないかもしれない。それだからこそ、用いられた図表のもつ効果を実感することができると考える。まず、文章全体の構成に目を向けさせ、筆者の論理を探らせたい。さらに、説得の方法という観点から、文章と図表を結び付けつつ、図表を用いた狙いや効果を吟味させたい。また、総合的な学習の時間で扱っている「水」をテーマとした学習と関連付けることで、テキストの理解を深めさせたい。この学習を通して、論説文の内容となっている「水問題」への関心を深め、総合的な学習の時間で、調べたり考えたり、それらをまとめて交流する学習活動につなげていきたい。

【生徒の主体的な学びを促すポイント】

- 本文と図表の結びつきを考えさせ、その効果をグループで吟味させる場面を作る。

【基礎・基本の定着】

（１）習得すべき基礎・基本について

- 語句の意味を正確に理解し，文章の内容を理解させる。
- テキストと図表を比較しながら読み取ることで，その効果を理解させる。
- 筆者の主張を正確に捉えさせ，自分の知識や経験と結び付けて考えさせる。

（２）定着への手立て

- 副教材や辞書を活用し，語句の意味を理解させる。
- 総合的な学習の時間の学習内容との関連を意識させる。

5 単元の目標

- 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。
- 文章と図表などを結び付け，その関係を踏まえて内容を解釈することができる。
- 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
- 進んで文章と図表などを結び付けて内容を解釈し，学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとする。

6 単元の評価規準

知識及び技能	思考力，判断力，表現力等	主体的に学習に取り組む態度
①情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	①「読むこと」において，文章と図表などを結び付け，その関係をふまえて内容を解釈している。 ②「読むこと」において，文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ，自分の考えを広げたり深めたりしている。	①進んで文章と図表などを結び付けて内容を解釈し，学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。

7 本単元を通して伸ばしたい資質・能力

※塩町中学校区では，小中９年間で身に付けさせたい６つの能力を定めている。（重点◎）

塩町中学校区 6 能力				
カテゴリー 【学力の３要素】 《評価の３観点》	資質・能力			
【思考力・判断力・表現力等】 《思考力・判断力・表現力等》	①思考力・判断力 （筋道を立てて考え自分で決める力）	◎	②表現力 （自分を表現する力）	
【学びに向かう力・人間性】 《主体的に学習に取り組む態度》	③課題発見力 （情報を活用し課題をつかむ力）		④コミュニケーション力 （関わる力）	
	⑤キャリア形成力 （課題解決のために努力する力）	○	⑥感謝・貢献 （他者に感謝し自分を役立てる力）	

- 思考力・判断力 …… 文章と図表などを結び付け，その関係をふまえて内容を解釈することができる。
- 表現力 …… 学習課題に沿って考えたことを知識や経験と結び付け，文章にまとめることができる。

8 指導と評価の計画（全7時間）

次	学習内容 (時数)	評 価				
		知	思	態	評価規準 (評価方法)	資質・能力
1	○ 全文を通読し，感想や意見をもつ。新出漢字の読み方や意味調べをする。(1)	○			知① (行動観察，ノート)	①思考力，判断力 (行動観察，ノート)
2	○ 水の循環に着目し，アクティビティ「驚異の旅」を行う。文章全体の構成，筆者の主張を捉える。(1)		○		思① (発言，ノート)	①思考力，判断力 (発言，ノート)
3	○ 図表が果たしている役割について，本文との対応に着目して考える。【本時】(1)		◎		思① (発言，ノート)	①思考力，判断力 (発言，ノート)
	評価指標 (ルーブリック)					
	A (素晴らしい)		・ Bに達している。 ・ 文章が果たす役割と図表の効果の両方について説明することができている。			
	B (良い)		・ 図表の効果について説明することができている。			
	C		・ Bに達しない。			
4	○ 「水の循環になるべく負担をかけない水の使い方」についてまとめる。(1)	○	○		知① (ノート) 思① (行動観察，ノート)	①思考力，判断力 (行動観察，ノート)
5	○ 「一〇〇年後の水を育む」とはどういうことか，話合う。(1)		○	◎	態① (ワークシート) 思① (行動観察，ワークシート)	⑤キャリア形成力 (行動観察，ワークシート)
6	○ 文章を読んで理解したことと，知識や経験とを結びつけて，考えを広げ，二〇〇字程度にまとめる。(1)		○	◎	態① (ワークシート) 思② (ワークシート)	⑤キャリア形成力 (行動観察，ワークシート)
7	○ 書き換えた文章を読み合い，感想を交流する。(1)		○	◎	態① (行動観察) 思② (ワークシート)	⑤キャリア形成力 (行動観察，ワークシート)

9 本時の展開

(1) 本時の目標

文章と図表を結び付けて内容をとらえ、図表の果たしている役割を理解し説明することができる。

(2) 観点別評価規準

思①「読むこと」において、文章と図表などを結び付け、その関係をふまえて内容を解釈してい

る。

(3) 準備物

教科書、ノート、国語ファイル、ホワイトボード、マーカー、振り返り冊子

(4) 学習の展開

	学習活動	主な発問・指示（○） 予想される生徒の反応（☆） 「C」と判断される生徒への手だて（◆） 指導上の留意点（●）	評価規準 【資質・能力】 （評価方法）					
導入	○前時学習の想起 ○本時の導入	●振り返り冊子を読ませる。（意図的指名） 振り返り① 前時の読み取りを振り返る						
展開	1 振り返り冊子に本時の学習目標を書く。 本時の評価指標を知る	●今日の学習目標を板書し、振り返り冊子に書かせる。 文章と図表の結びつきを捉え、図表の効果を説明することができる。						
	評価指標（ルーブリック）							
	<table><tr><td>A （素晴らしい）</td><td>・ Bに達している。 ・ 文章が果たす役割と図表の効果の両方について説明することができる。</td></tr><tr><td>B （良い）</td><td>・ 図表の効果について説明することができる。</td></tr><tr><td>C</td><td>・ Bに達しない。</td></tr></table>			A （素晴らしい）	・ Bに達している。 ・ 文章が果たす役割と図表の効果の両方について説明することができる。	B （良い）	・ 図表の効果について説明することができる。	C
A （素晴らしい）	・ Bに達している。 ・ 文章が果たす役割と図表の効果の両方について説明することができる。							
B （良い）	・ 図表の効果について説明することができる。							
C	・ Bに達しない。							
	2. p. 90 の図、「物を作るのに必要な水（ヴァーチャルウォーター）の量」を見て、分かることを書く。	○ワークシートに、図から分かることを書きなさい。 ☆御飯一杯に 277 L， トウモロコシ 1 本に 86.8 L…の水が必要。 ☆いろいろなものを作るのに、たくさんの水が必要。						
	3. p. 90 の図に対応する部分（⑤～⑩）の文章を読んで、分かることを書く。	○ワークシートに、文章を読んで分かることを書きなさい。 ☆何かを作るときに必要な「見えない水」のことを「バーチャルウォーター」という。 ☆食べ物を作るのにたくさんの水が必要だ。 ☆工業製品を作るときにも水が使われる。						
	4. 教科書を見て、⑤～⑩で筆者が言いたいことをまとめる。	○教科書を見て、⑤～⑩で筆者が言いたいことを 3 行でまとめなさい。 ☆バーチャルウォーターの使用量も増え続けている。バーチャルウォーターとは食べ物や工業製品を作る過程で必要となる水のことである。 ●抽象的な言葉に着目させ、要約させる。						

	5. p. 90 の図, 「物を作るのに必要な水 (バーチャルウォーター) の量」は, どのような役割を果たしているか考える。 6. 5 で考えたことを班で交流する。 7. 意見を全体で交流する。	○p. 90 の図, 「物を作るのに必要な水 (バーチャルウォーター) の量」は, この文章の中でどのような役割を果たしていますか。 ☆バーチャルウォーターが必要となる例を, 文章よりもたくさん示している。 ☆絵で表すことで, 一目見て分かりやすくしている。 ☆使われる水の量を図式化してイメージしやすくしている。 ☆本文に出せていない例も追加で紹介し, 本文を補う役割を果たしている。 ●図だけだったらどうか, 本文だけだとどうかを考えさせる。 ●3 で書いた文章と本文を比較させる。 ◆本文に出てきたものと, 図に出てきたものを対応させる。 ○考えたものを班で共有し, WB に書こう。 振り返り② 友達の意見を聞き, 自分とは異なった視点で自分の書いたものを振り返る。 ○WB を黒板に貼り, 班ごとに発表しよう。 ●共通しているところに線を引く。 ●図の良さだけを述べているもの, 図と本文のかかわりを述べているものに分類し, 図がその内容と分かりやすさで本文を補完していることを確認する。 ●参考となるものをノートに赤で書き加えさせる。	思①・図表の効果について説明することができる。【思考力・判断力】(ノート)
まとめ	○振り返り冊子に今日の振り返りを書く。	○振り返りの視点3 「新しい発見」で書きなさい。 振り返り③ 本時の学びを振り返り, 新しく発見したことを視点にして振り返りカードに記入する ☆図があることで, 本文だけでは分かりにくいことを分かりやすく表現することができる。 ☆図には本文にはない例も出されており, 読み手の理解を助けている。	

10 板書計画

めあて

文章と図の結びつきを捉え、図の効果を説明することができる。

一〇〇年後の水を守る

橋本 淳司

評価指標
(ルーブリック)

図から分かること

(p.90の図)

御飯一杯に277L、トウモロコシ1本に86.8L…の水が必要。

⑤↔⑥の文章から分かること

☆何かを作るときに必要な「見えない水」のことを「バーチャルウォーター」という。
☆食べ物を作るのにはたくさんの水が必要だ。
☆工業製品を作るときにも水が使われる。
筆者が言いたいこと

図の果たす役割

バーチャルウォーターの使用量も増え続けている。
バーチャルウォーターとは食べ物や工業製品を作る過程で必要となる水のことである。

振り返り

③新しい発見

